



報道関係各位

2022年7月20日  
株式会社 ZMP

## 自動運転 EV けん引車 CarriRo Tractor 25T リチウムイオン電池搭載の新モデル先行受注開始

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口恒、以下 ZMP)は、自動運転 EV けん引車 CarriRo Tractor 25T の新モデルの先行受注を開始いたします。

昨今さまざまな業界で課題となっている労働者不足の解決策として、貨物運搬の自動化についても期待が高まっているという背景があり、ZMP ではコンピューター制御が可能な自動運転 EV けん引車 CarriRo Tractor を開発しておりましたが、この度中国にある GSE(空港内特殊車両) 専門メーカー WEIHAI GUANGTAI AIRPORT EQUIPMENT CO., LTD. (以下、「Guangtai」) 社製のリチウムイオン電池搭載 EV けん引車を採用した新ベース車体での提供を開始いたします。

Guangtai は、中国威海市を拠点に、世界 60 ヶ国でけん引車を始めとする空港向け車両を販売する GSE 専門メーカーであり、充電時間 1 時間以内などの急速充電にも対応可能なリチウムイオン電池を搭載した EV けん引車の開発・提供を実施しております。Guangtai の車両メーカーとしての技術・経験・知見と、ZMP が培ってきた自動運転技術・経験・知見を基に設計した、自動運転に使用する各種センサー類と、頭脳でもある自動運転ソフトウェア IZAC® を搭載することにより、自動運転レベル 4 の無人自動運転 EV けん引車を実運用を見据えた形でご提案いたします。

今回の新ベース車両を活用して、空港向けのグランドハンドリング業務の省人化は勿論ですが、空港にとどまらず、工場敷地内での建屋間の部品や材料の輸送、また港湾でのコンテナ輸送といったシーンで実運送作業の自動化についてもご支援を進めて参ります。

CarriRo Tractor 25T は、本格受注に先立ち 本日より先行受注を開始、お客様からのご要望を受けて仕様を協議の上製造を予定しております。

### 【主な特徴】

- ・車両メーカーと協業することにより、スムーズな車両制御を実現
- ・インフラ側に一切手を加えない自動運転が可能
- ・最大 25 トンの重量物の運搬が可能
- ・遠隔監視システム ROBO-HI を活用することにより、遠隔での監視・操作や業務管理システムとの連携が可能



**carriRO TRACTOR**

CarriRo Tractor 25T 新ベース車両

### 【新 CarriRoTractor25T 主な仕様】

全長×全幅×全高	3,175mm / 1,596mm / 2,185mm
車両重量	4,000kg
最高速度	非けん引時：25km/h けん引時：15km/h
ハンドル	有
けん引能力	25t
自動運転の方式	自律型（インフラに手を加えずに自動運転）
基本機能	自己位置推定、障害物認識、車両制御、マニュアルモード・自動制御モード切替 等

GNSS、IMU計1基  
3D LiDAR 計3基 / カメラ 計2基  
(前方・後方撮影)



センサー搭載イメージ

### 【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP ロボセールス&ソリューション事業部  
TEL:03-5844-6210 E-Mail: [info@zmp.co.jp](mailto:info@zmp.co.jp)

### 【株式会社 ZMP】

<https://www.zmp.co.jp/>

本社：東京都文京区

代表取締役社長：谷口 恒



「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ヒトの移動を担う『自動運転車両 RoboCar®シリーズ』、②モノの移動を担う『物流ロボット CarriRo®シリーズ』、③ロボタウン®を実現する『歩行速ロボ®三兄弟』を活用したサービス、また④それらを管理する『ロボットクラウドシステム ROBO-HI®』など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

日本初の公道走行を実現した DeliRo®、佃・月島でサービス開始した RakuRo®は、「ロボットを社会インフラへ」を目指し、戦略的事業パートナーを募集中です。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。